学長式辞

日 髙

を解決する知力が問われるの は、偏差値は意味を持ちませ ん。問題を自ら発見し、それ

経済学部長

福島

利夫



をもたらす人との出会いも重 学問の場において、魂の覚醒 修得したかが問題なのです。

要です。

でしょう。経済学は、日 法学部長

す。本学は、明治維新の

最中にアメリカへ留学



れ動く内外の現状

という言葉は「世を治 め、民衆を救う」という 意味の「経世済民」から|より歓迎の意を表しま|国に新しい形を求める|とも見えますので 最初の一歩を 新入生の皆さんに、 といってくれない代わり てようとしたのは、わが に、無理矢理止められる

新しい世界を楽しみ、

商学部長 明 自分を成長させるため

もあるのです。

限り無限に広がる世界で

の世界は高校とは違い、 しい世界へようこそ。こ ご入学おめでとう。 してください。大学は自 に、どんなことにも挑戦

世の価値観を分解し相対化

は、そういう力を身につ

少しでも実感し、

でもあります。

体系を築くため

は、自分の学問 が、今となって いたりしました

とであります。 誠にうれしいこ

田種太郎、駒井重格の4先生

米国に留学しました。

治維新後、太平洋を渡って

幕末の動乱を生き抜き、

学創立130周年記念映画

この間のドラマは、専修大

学作り」を大学運営の指針と

です。

21世紀ビジョンとして

在、「学生を基本に据えた大 と、若き日の志は今なお鮮明

相馬永胤、田尻稲次郎、目賀 自律への道を開いたのです。

880年)に創立されまし るという大転換を行いまし

専修大学は、明治13年(1 それを日本語によって教授す

会科学の総合大学に至ってい 道であったと思います。人は

ます。この間、約27万人に及

ぶ卒業生を輩出しました。現

ものが必ずあるという信念 生まれたからには、成すべき

た。専修大学の創立者である た。いわば、わが国の学問的

4830人の新

入生を迎え入れ

科大学院を含め

大に学ぶ自信と誇り持ち

殻を破って大きく変身を

ましたことは、

部、大学院、法 りが進む中、学 年に向け魅力あ す。創立140 始まっていま 館などの建設が

制大学に移 行し、今日

帰らず」という心境でした。

もし成らずんば死すとも 志を立てて郷関を出ず。

なり、そし 専修大学と 学令による 1年には大 さらに大正

崎から汽車で27時間かかって 年前のことですが、九州の宮 入学式を迎えました。もう47 じように、ここ日本武道館で 法学部に入学し、皆さんと同

取り扱います。「経済」 ら、広く国際社会までを 常生活での商品の売買か

旧制大学の

上京しました。

漢詩の一節にあります「男

の人文・社

ではありません。壁にぶつか

くねった道を歩

ったり、曲がり

人間の生き方は、決して平坦

るキャンパス造

館、国際交流会

下、神田新5号

パス整備計画の

中期のキャン

害をもたらしましたが、

ちは、「専修学校」において による学校となり、大正2年

称変更し、 修大学に名

には私立専

私は、昭和41年に専修大学

いませんでしたが、創立者た 学校は、その後、専門学校令

した証であります。

か問題ではなく、大学で何を

東日本大震災は広範囲な被

八学でも校舎な

が損傷しまし

を受け、自然に友だちが 固定されたクラスで授業 できるわけではありませ ん。何を学び、誰と学ぶ 文学部長 金子

会い。自ら新たな出会い 必要となる力・能力を身 につける場所だとよく言 来社会に出て行くときに 大学は、みなさんが将 ご入学おめでとう。

ひとつ自分で選ぶ世界で か、何をするのか。一つ 新しい友や先生との出 洋之

うかもしれません。分か れません。でも、声をか らないことだらけかもし み出してください。戸惑 を求めて最初の一歩を踏 が要求する能力なのでし 家や企業、あるいは社会 でしょうか。それは、国 なる能力とはいったい何 われます。しかし必要と までは、学ぶ目的は明確 は学ぶ目的を定め、その だと思いますが、大学で ために設定する具体的な ネットワーク情報学部長 入学おめでとう。 高校 伊東

の近代の学問を修得し、帰国

と受け継がれています。

神田キャンパスの一角に現 「黒門」が復元されてい

い。これからの4年間にどれ

だけ研さんし、いかに人格を

環境が備わっています。 は、学生を大きく変身させる さい。伝統ある専修大学に

これからの大学生活におい

ても揺るがず、今日まで綿々

駄にすることなく、大きな夢

ことに自信と誇りを持って下

ている専修大学で、勉学する

に有為な人材を数多く輩出し

入生の皆さん、大学生活を無

志をもって黒門を叩いた新

の実現に取り組んでくださ

大戦の戦禍などの難局にあっ は、関東大震災、第二次世界

にわたり法律学、経済学など

ガースの各大学で約8年間

^、エール、ハーバード、ラ

創立者たちは、コロンビ

描かれています。建学の精神

VDが作製されています)に 「学校をつくろう」(現在D

教育・研究に取り組んでいま

「社会知性の開発」を掲げ、

いていかなければなりません

新入生の皆さん、今年で

自分の人生は自分で切り拓

高等教育機関を立ち上げまし 後の明治13年、市民レベルの

た。それが専修大学の前身で

ます。この黒門は、わが大学

が明治期の五大法律学校(今

の人生を決定します。

磨いたかが、皆さんの30年後

本の国の形を考え、高等教育

田、中央)の時代に「黒門の 日の専修、明治、法政、早稲

るのではなく、主体的に取り

15代学長の式辞と致します。

はなく、自ら声をかけて けてもらうのを待つので

あたっていますが、大学

この答えは部分的には

|を自らデザインする必要|を活用しながら、

大きな います。

失敗を一につけてほしいと願って

| 活を送ることができるよ

う願っています。

|の困難を切り開く力を身| 学んだかを言える学生生

修を実現するプロセス

す。これらのプログラム

大学での勉学は、与えられ

海外から日

人々の幸せもたらす経済学 り方とそのための仕組み 来ていますが、経済学は 全体を取り上げます。 人々の暮らしの幸せなあ 東日本大震災と原発事 |も、経済学が今、求めら| 願っています。 |れば「日本列島」全体も|ついて深く考えることが |りもどす(そして、でき|そして生き方や働き方に|与えようとする有為な人|すよう祈念致します。 いう地名本来の意味を取 「幸福の島」に)ために | できるようになることを 「幸福の島(地域)」と | 済学を学ぶことによっ

|れています。皆さんが経

進取の精神」を体得しよう 学徒だったでしょう。そ て、国や社会のあり方、 「進取の精神」に満ちた |して、世界に新しい形を|わぬ学生生活を送られま |た「進取の精神」を体得|ています。この期待に違||んは、創立者の大切とし||材となることが求められ 経験と人脈を形成する場に



一設定した目標をどれだけ 分。厳しい自己管理が必 達成したかを知るのは自 しいと思います。 なく、目的を優先してほ ネットワーク情報学部 自分が

そこでは好き嫌いでは

るプロセスを自らデザイ

ンするのを手助 けしま | な問題に直面した時にそ 入生の皆さんには、こん 年が過ぎましたが、さま 島原発事故の発生から2 東日本大震災被害、福 そして4年後に、何を

|用意して、学生が学習す|ちは直面しています。新 では八つのプログラムを | ざまな困難な問題に私た |学、社会学の学習を通し いものをみる力を、心理 ように表立っては見えな てください。 て皆さん自身のものにし たんぽぽ」より)とある

|らこそ、自ら歩み続ける|ります。それは実に難し|生かして、さらなる前進| |こともありません。だか|を相対化する場所でもあ 元すべく日本語の教材を | 学スタッフは同様の気概 けるだけの場所ではあり | なさんに期待したいと思 し、その成果を社会に還|にも、伝統を受け継ぐ本 大きな目標に向かって前進 |いったん分解して、それ|ださい。 界が大転換へと進む予兆 本学に入学される皆さん るようになることを、み |願っています。特に、揺 をもつ学士を育てたいと れから134年を隔てて い作業ではありますが、 同時にとても楽しい作業 | 的を達成した」という充 | のできる機会を用意して むしろ世間の価値観を | 目標に向かって進んでく このことを卒業までに | 生となることを切望しま | 付き合える友人に恵まれ こなせ は、世 す。 |を続け、4年後には「目 ることでしょう。 き、この瞬間を迎えてい 一への希望と不安をいだ |晴れやかに、新たな生活 実感と誇りに満ちた卒業 見えない物を見る力を養う 失敗してもその経験を 大学生活は、人生の中 経営学部長 人学おめでとう。心、 馬 塲 宇都 八間科学部長 樂子 杉夫 |います。自ら挑戦し、一生 |ができます。経営学部 とを共感したりすること |す。将来、困難に直面し される友人関係は、一生 よ」(金子みすゞ「星と は、皆さんに多様な経験 た時、互いに助け合った 抜きでつきあえるからで う。自分のやりたいこと り、嬉しいこと悲しいこ た、その経験の中で形成 人生を左右します。ま 培われる経験がその後の えぬものでもあるんだ るまで沈んでる、昼のお ることを願っています。 の宝物になります。損得 期の一つとなるでしょ けれどもあるんだよ、見 星は眼にみえぬ。見えぬ 石のそのように、夜がく お空の底ふかく、海の小 はいけません。その中で とができるからです。 で、もっとも有意義な時 に、多くの時間を割くこ その力として、「青い でも、漫然と過ごして